



2017年8月17日
六本木アートナイト実行委員会

『未来ノマツリ』をテーマに六本木の街を彩る一夜限りのアートの饗宴
六本木アートナイト 2017

六本木の街に蜷川実花の作品が出現！
多彩なアート作品やパフォーマンスが六本木の街を盛り上げます！
プログラム内容がついに決定

2017年9月30日(土)10:00～10月1日(日)18:00
コアタイム：日没(17:27)～日の出(5:36)まで

六本木アートナイト実行委員会は、2009年より始まり今回で8回目※を迎える六本木の街を舞台にした一夜限りのアートの饗宴「六本木アートナイト 2017」を2017年9月30日(土)～10月1日(日)の2日間開催いたします。

今回のテーマは「未来ノマツリ」。近年は音楽フェスティバルやアートフェアも広く“祭”と位置付けられています。人々が集い非日常的な体験を共有し、文化を未来へ伝える“祭”は、ひとつのコミュニケーション・プラットフォームと言えるでしょう。多彩なアート作品で六本木の街を埋め尽くし、多くの人たちと夢のような特別な時間を共にする「六本木アートナイト 2017」にご期待ください。

今回、メインプログラム・アーティストに写真家・映画監督として幅広く活躍する蜷川実花氏を迎え、この瞬間にしか見ることでできない美しく妖艶な世界をお届けします。六本木の街に突如現れる色鮮やかな蜷川実花の世界観に酔いしれるはずです。また、今回初の試みとなる「東南アジア・プロジェクト」では、東南アジアのアーティストが“祭”をテーマに地域のコミュニティメンバーと協働した作品を発表します。国内外で活躍する気鋭のアーティストが集結し、夢のような一夜「未来ノマツリ」を展開します。 ※2011年は東日本大震災により中止

六本木アートナイト 2017
メインビジュアル



Photo by Mika Ninagawa

六本木アートナイト 2017 開催に向けたコメント

六本木アートナイト実行委員長 南條史生（森美術館 館長）

六本木アートナイトは今年で8回目の開催となります。今年のテーマに掲げた「未来ノマツリ」は、美術館の中ではなく六本木の街で行うアートイベントとして、大勢の人が楽しむことができる“祭”のようなイベントにしたいという意味が込められています。メインプログラム・アーティストに蜷川実花さんを迎え、祭の中心となる色鮮やかな作品を発表して頂きます。また、ASEAN設立50周年の節目に、「東南アジア・プロジェクト」を六本木アートナイトで実現することができました。今日の国際社会において、日本が存在感を示すにあたり、文化の重要性はますます高まってきています。その中で、東京のクリエイティビティを可視化し、国内外に向けて発信するイベントの一つとして、六本木アートナイトをさらに盛り上げていきたいと考えています。



※各プログラム概要は、次頁以降をご参照ください。なお本リリース内容は2017年8月時点のものであり、今後変更になる場合があります。

報道関係のお問い合わせ

六本木アートナイト実行委員会 広報プロモーション事務局

たかもと いくよ かいはとみ とみさき あやの

担当：高本育代・甲斐仁実・富寄綾乃

TEL：03-4477-5556 FAX：03-5469-0680 mail：roppongiartnight2017@pr01.com

「六本木アートナイト 2017」 広域プログラム | 蜷川実花

六本木アートナイト 2017のテーマ「未来ノマツリ」に基づき、六本木の街を一変する広域にわたるプログラムが各エリアを繋ぎます。蜷川実花が贈る鮮やかな世界が非日常の世界へと誘うメインプログラムです。



六本木ヒルズ アリーナ
イメージ

● 蜷川実花 《Tokyo Followers 1》

六本木ヒルズアリーナ、東京ミッドタウン、国立新美術館をつなぐインスタレーション作品。極彩色に彩られた東洋と西洋の様々なモチーフが混ざり合う万華鏡のような蜷川実花の世界観を3会場で展開。フォトスポットとなる作品のなかで蜷川マジックにかかった観客（観る人）はいつしか発信者（創る人）となっていく。六本木ヒルズアリーナでは2日間繰り広げられる様々なイベントの舞台となります。

- ・日 時：9/30(土)10:00~10/1(日)18:00 (会場によって異なります)
- ・場 所：六本木ヒルズアリーナ、東京ミッドタウン、国立新美術館
- ・参加料：無料

<蜷川実花 プロフィール> 写真家・映画監督

木村伊兵衛写真賞ほか数々受賞。映画『さくらん』(2007)、『ヘルタースケルター』(2012) 監督。映像作品も多く手がける。2008年、「蜷川実花展」が全国の美術館を巡回。2010年、Rizzoli N.Y.から写真集を出版、世界各国で話題に。2016年、台湾の現代美術館(MOCA Taipei)にて大規模な個展を開催し、同館の動員記録を大きく更新した。2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会理事就任。

www.ninamika.com



「六本木アートナイト 2017」 広域プログラム | 東南アジア・プロジェクト

「東南アジア・プロジェクト」は、東南アジアのアーティストや東南アジアにゆかりのある日本人アーティストを招聘し、様々な人々と協働しながら作品を制作・発表するプロジェクトです。ワークショップを通じて地域の歴史や文化資源のリサーチを実施することで、文化活動活性化、地域の潜在コンテンツ顕在化なども目指しています。



OK Tower, 2016
Installation view at Nishiura village,
Megijima, Japan
Photo by Navin Production

● ナウィン・ラワンチャイクン (Navin Rawanchaikul)

《OKのまつり》

タイのアーティストのナウィン・ラワンチャイクンが六本木を舞台に《OKのまつり》を開催します。六本木を題材にした短編映画の上映や絵画作品の公開など、六本木という街の様々な表情と魅力が映し出されます。映画の中にも出てくるオリジナルの六本木サルサのパフォーマンス、ピクニックや子供向けワークショップなど、お年寄りから子供までいろんな人々に楽しんで頂ける様々なイベントが開催されます。

- ・日 時：9/30(土) 15:00~10/1(日) 18:00
- ・場 所：六本木西公園
- ・参加料：無料



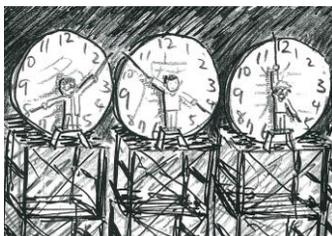
Angono Higantes, Big and Small
photo credit :
photo walk Philippines/whatsnewph.com

● ネオ・アングノ・アーティスト・コレクティブ (Neo Angono Artists' Collective)

《巨人と歩く：彼らは私たちと同じ (六本木ヒガンテスプロジェクト)》

2004年からフィリピンを拠点に活動するアーティスト集団「ネオ・アングノ・アーティスト・コレクティブ」。彼らの代表作である異彩を放つ巨人彫刻「ヒガンテス」を、今回は六本木の街や人々とコラボレーションして制作します。オリジナルのヒガンテスを公園や街なかに展開し、六本木を色鮮やかに彩っていきます。

- ・日 時：9/30(土) 10:00~10/1(日) 18:00 (会場によって異なります)
- ・場 所：六本木西公園、六本木ヒルズ ウエストウォーク 他 六本木各所
- ・参加料：無料



24時間人間時計のためのドローイング

● 国立奥多摩美術館 (Kokuritsu Okutama Museum)

《国立奥多摩美術館 24時間人間時計 ~アジア編~》

2012年に東京都青梅市に発足したアーティスト・コレクティブ「国立奥多摩美術館」。メンバーの多くは、東南アジアで作品発表の経験があり、今回はアジアをテーマに、人が時計の針となる「24時間人間時計」に挑戦します。

- ・日 時：9/30(土) 18:00~10/1(日) 18:00
- ・場 所：六本木ヒルズ ノースタワー前
- ・参加料：無料

「六本木アートナイト 2017」 広域プログラム | 街なかインスタレーション

「六本木アートナイト」の魅力は、街なかのお店やストリート、公園などにアート作品を点在させることで、普段とは違った街の表情を愉しめることです。今年も様々なインスタレーション作品が街なかに溢れ出します。



©mika ninagawa,
Courtesy of Tomio Koyama Gallery

● 蛭川実花

《NINAGAWA ALMOND》

六本木の名物カフェ「アモンド」のウィンドウに蛭川実花のヴィジュアルが出現。多くの人々が行きかう六本木の中心地で、その強烈かつ独特の色彩が存在感を発揮します。

- ・日 時：9/30(土) 10:00~10/1(日) 18:00
- ・場 所：アモンド（六本木交差点）



Drift
Patience photo: Masayuki Hayashi

● 安藤北斗・林登志也 / we+ (ウィープラス)

《ROPPONGI ART NIGHT CAFÉ supported by Seibu & Sogo featuring we+》

コンテンポラリーデザインスタジオwe+が、海外で高い評価を得た時を刻む作品や、六本木アートナイトが初披露となる最新作など4つの作品を展示。誰もが一度は触ったことのある磁石や樹脂といった身近な素材と真摯に向き合い「時間の変遷」やそれに伴って起こる「自然現象」をすくい上げる実験的なアプローチで、デザインの新たな可能性を模索します。会場音楽は、同会場でライブも行う新世代の音楽家atnrが手掛けます。

- ・日 時：9/30(土) 11:00~10/1(日) 5:00、11:00~18:00
- ・場 所：六本木ヒルズ ヒルズカフェ/スペース
- ・参加料：無料



● ソロ・フィーグル

《フラ》

オランダ、アムステルダムで活動するソロ・フィーグルは、機械的な仕掛けのインスタレーションで注目を集めています。今回のアートナイトで発表するのは、リボンがエレガントに宙を舞うインスタレーション《フラ》。天井に付けられた無機質で武骨な機械が作り出すリボンの滑らかな繊細な動きが、タイトルにあるハワイ伝統舞踊のフラダンスのように優雅で美しい作品です。

- ・日 時：①9/30(土) 10:00~10/1(日) 6:00 ②10/1(日) 12:00~18:00
- ・場 所：第一レーヌビル
- ・参加料：無料



● 山本洋子(バルーンランド)

《アジアの花》

カラフルでポップなバルーンアートを街なかに展開している山本洋子(バルーンランド)が、六本木アートナイト2017のテーマにあわせて六本木交差点のランドマーク「時計塔」を彩ります。

- ・日 時：9/30(土) 10:00~10/1(日) 18:00
- ・場 所：六本木交差点
- ・参加料：無料



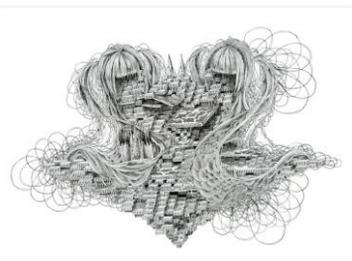
リム・ソクチャンリナ
アーバン・ストリート・ナイトクラブ
2013

● リム・ソクチャンリナ、ナット・スワディー他

《アジア映像集》

リム・ソクチャンリナなど、「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」参加アーティストをはじめとするアジアの映像作品集。六本木の街とアジアの熱さが混ざり合うプログラムです。

- ・日 時：9/30(土) 18:00~10/1(日) 5:00
- ・場 所：芋洗い坂の駐車場
- ・参加料：無料



IDEAL WORLD [TWINS]/2011年

● 石井七歩

《How to build the IDEAL WORLD》

都市と人間との関係性をテーマに描き続けてきたアーティスト石井七歩によるライブ・ペインティング。観客は石井に対し、家を建てる・ビルを建てるなど、「都市の設計者」の立場となって描く内容を指示することができます。大勢の人々の指示によって創られる都市は一体どんなカタチになるのでしょうか？大都市の発展をキャンパス上に再現するかのような参加型ライブ・ペインティングをお楽しみください。

- ・日 時：9/30(土) 12:00~10/1(日) 6:00、12:00~18:00 (途中休憩時間あり)
- ・場 所：ラピロス六本木
- ・参加料：無料

「オープンコール・プロジェクト」採択プログラム



茨城県北芸術祭2016出展作より

● CALAR.ink

《During the Night -よるのあいまに-》

リアルとバーチャルをシームレスに横断し、アートとテクノロジーを融合した世界で、観客を巻き込みながら一つの物語を完成させていく、ライブペインティングショー。

技術や手法を超えた表現方法で、心に残るようなインタラクティブな体験を生み出し、六本木アートナイトでは「魔法」をテーマとしたオリジナルストーリーを展開します。

- ・日 時：9/30(土) 18:30~19:10、20:00~20:40、21:30~22:10、23:00~23:40
10/1(日) 0:30~1:10、2:00~2:40、11:30~12:10、13:00~13:40
14:30~15:10、16:00~16:40

- ・場 所：六本木けやき坂通り1F特設会場（各回30分前に会場前で整理券配布）
- ・参加料：無料

「オープンコール・プロジェクト」採択プログラム

● ryo kishi

《dis:play(bias)》

情報伝達を目的にせず、色彩と動きの表現に特化した映像投影装置。時代の流れ、汎用化、効率化の中で導き出された最適解(映像の表現方法)に対して、別解の可能性を探る試み。物理的に変化する枠の中に映し出される像は、平面、固定という概念から解放され、“映像の彫刻”を作ります。

- ・日 時：9/30(土) 10:00~10/1(日) 18:00
- ・場 所：六本木ヒルズ ウェストウォーク2F
- ・参加料：無料

「オープンコール・プロジェクト」採択プログラム



dis:play(bias)

● 江頭誠

《suit》

我々の日常には西洋文化が溢れている。

スーツ姿にロココ調の花柄毛布。我々は持ち主の好みに関係なく様々なものを取り込んでいく。

身近にある無意識を意識してみませんか。

- ・日 時：9/30(土) 10:00~10/1(日) 18:00
- ・場 所：六本木ヒルズ ウェストウォーク2F
- ・参加料：無料

「オープンコール・プロジェクト」採択プログラム



『Rose Blanket Collection'16』(2016)

撮影：川瀬一絵

写真提供：スパイラル/株式会社ワコールアートセンター

● 鄭弘敬

《「台北無聊風景」シリーズ》

安定した自分自身の日常生活に違和感を感じたことから制作したシリーズ作品。台北で生活している友人に声をかけ、生活中に起こりうるちょっと変わったシーンを再現してもらい撮影しました。中にはストリートで会った人を撮影したものもあります。日々撮影する日常に潜んでいる、愛くるしい瞬間と台湾の文化がイメージの中で共鳴する作品です。

- ・日 時：9/30(土) 10:00~10/1(日) 18:00
- ・場 所：六本木地下横断歩道
- ・参加料：無料



「台北無聊風景」シリーズ
2017

「六本木アートナイト 2017」広域プログラム | 街なかパフォーマンス

六本木の街なかでいくつものパフォーマンスが開催されます。臨場感あふれるパフォーマンスが、特別な世界へと導きます。

● 蛭川実花

《(TOKYO道中)》

コアタイムの幕開けを飾る、蛭川実花が演出を手掛けるスペシャルパフォーマンス。自らが作ったメインステージを舞台に繰り広げられる、蛭川実花版“花魁道中”。

- ・日 時：9/30(土) 18:00~18:30
- ・場 所：六本木ヒルズアリーナ
- ・参加料：無料



Photo: Culture Vision Japan Foundation Inc.



atnr

● atnr / koeosaeme
《SOUND & VISUAL LIVE#1, #2》

今年のアートナイトカフェのコアタイムには、クールでアーティストティックなライブイベントを2回開催します。サウンドとヴィジュアルを一体のものとして制作しライブで同時に操る最も新しいタイプのクリエイターたち、atnrとkoeosaemeに注目！なおライブ時間外のカフェで流れる音楽はatnrの楽曲をコンピレーションしたもので、展示作品鑑賞者にも飲食を楽しむお客様にも優しく作用します。

○ atnr

- ・日 時：9/30(土) 20:00~21:00
- ・場 所：六本木ヒルズ ヒルズカフェ/スペース
- ・参加料：無料

○ koeosaeme

- ・日 時：10/1(日) 2:00~3:00
- ・場 所：六本木ヒルズ ヒルズカフェ/スペース
- ・参加料：無料



koeosaeme

● 康本雅子×ASA-CHANG&巡礼
《まほう》

これまで幾度となく共演してきたダンサー・振付家「康本雅子」と音楽ユニット「ASA-CHANG & 巡礼」による一夜限りのスペシャル・ライブ・パフォーマンス。世界的に高い評価を得る両者が正面から対峙し、この日のため新たに作品を創り上げる。ダンス、音楽、時間、空間、そこにある全てが掛け合わせり『まほう』が生まれます。

- ・日 時：9/30(土) 19:00~19:30
- ・場 所：六本木ヒルズアリーナ
- ・参加料：無料



撮影：松本成弘

● ジンタラムータ
《ジンタラムータ ストリートライブ》

世界が驚喜するユニークな街頭音楽チンドンをバックボーンに、クレズマー、バルカンなどワールドワイドなポピュラー音楽とのハイブリッドに挑んできたジンタラムータ、六本木各所に出没。往来の皆様だけでなく土地の精霊にもご挨拶！さあさあ、寄ってらっしゃい、見てらっしゃい！お澄まし顔を取っ払い、いなせな楽隊ジンタとともに、くるくるくると輪になって、お天道様を背に受けて、風に吹かれて踊りまSHOW！

- ・日 時：未定
- ・場 所：六本木アートナイト開催エリア内 数カ所
- ・参加料：無料



ジンタラムータ

● ジンタラムータ
《ファイナルライブ with ジンタラムータ》

今年のアートナイトを打ち止めとする大団円ライブ。9/30と10/1両日にわたって六本木のあちこちを賑わせてきた街頭音楽チンドン楽団ジンタラムータを中心に、アジアンパワーが炸裂します。響き渡る鉦の音は、昔々の鉦叩き・踊り念仏にも遡る鎮魂の祝福芸！往来の皆様だけでなく土地の精霊にもご挨拶！元祖舶来・和洋折衷マーチの響きも、元を辿ればオスマントルコ、シルクで繋がる大地の響き！

- ・日 時：10/1(日) 17:00~18:00
- ・場 所：六本木ヒルズアリーナ
- ・参加料：無料



ジンタラムータ

● On7(オンナナ)
《宴★UTAGE~Newspaper Ladies》

「いつもの風景が、ちょっと違って見える」そんなコンセプトを掲げ、新聞紙ドレスを身に纏った女達が六本木の街に絵画のように現れます。

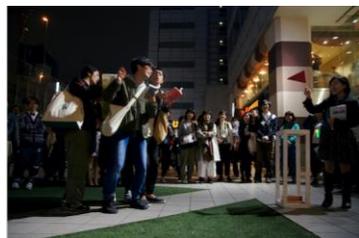
観客とパフォーマーは繊細かつ濃密に交流を図りながら時間を共有しますが、「言葉」は使いません。ノンバーバルだからこそ多種多様な観客の方々と六本木の空気や風景を味わい、屋外の活きている時間を共にすることで、「この場所」・「この時間」をお持ち帰りください。

- ・日 時：9/30(土) ①18:30~18:45、②20:45~21:00、③21:45~22:00、
10/1(日) ④0:30~0:45
- ・場 所：9/30(土) ①ロアビル、②天祖神社、③東京ミッドタウン キャンピー・スクエア
10/1(日) ④六本木ヒルズ メトロハット前
- ・参加料：無料



撮影：多摩1キロフェス2014年9月

「オープンコール・プロジェクト」採択プログラム



六本木アートナイトスイッチ2016

● スイッチ総研
《六本木アートナイトスイッチ2017》

“六本木アートナイト史上最も敷居の低い芸術”を標榜し、演劇の力を信じて参戦した2015年のオープンコール・プロジェクトから早三年。各地の芸術祭に招聘して頂けるようになったスイッチ総研が、再び六本木にスイッチ＝「スイッチを押すと始まる3秒～30秒の演劇」を仕掛けます。押されなければ始めません。押しつける事はしたくない。芸術への衝動と相手の立場を想像することの両立を諦めたくない白眼血反吐！街の魅力をかりて創る六本木ならではの作品たち。街なかを巡りスイッチを押して、クレイジーかつピースフルな一瞬の物語を始めるのは貴方です！

- ・日 時：9/30(土) 19:00～20:00、22:00～23:00 (予定)
- ・場 所：六本木商店街、六本木ヒルズ
- ・参加料：無料



浴槽船 撮影：杉田協士

● FUKAIPRODUCE羽衣
《ハゴロップンギナイト♪》

「オープンコール・プロジェクト」採択プログラム

FUKAIPRODUCE羽衣がお届けする日常のありふれたあれこれを、ありふれない歌と踊りと人間力で表現する妙なミュージカル＝“妙～ジカル”。六本木の隠れ家的スペースで送る特別LIVEは、参加者のみに知らされる秘密の場所で開催。都会に生きる全ての人に贈るほんの少し気分が上向く、ハゴロップンギナイト♪。

- ・日 時：9/30(土) 22:00～22:30、23:15～23:45、10/1(日) 1:00～1:30、2:15～2:45
- ・場 所：六本木五丁目特設会場 (詳細は整理券に記載)
- ・整理券配布場所：六本木アートナイト運営本部 (ラピロス六本木)
- ※各回1時間前に整理券配布各回60名
- ・参加料：無料



bozzo

● 黒田育世
《IKUYO KURODA/BATIK in ART NIGHT》

国内外で精力的に活動し、高い評価を得ている振付家・ダンサーの黒田育世。多様化するコンテンポラリーダンスの表現の中で、敢えてバレエのテクニックを基礎に「踊ること」にこだわった活動を行っている彼女が、自身の主宰するダンスカンパニーBATIKと共にアートナイトに初参戦。六本木ヒルズアリーナで、他では観ることのできないスペシャルなパフォーマンスを行います。

- ・日 時：9/30(土) 23:00～23:30
- ・場 所：六本木ヒルズアリーナ
- ・参加料：無料



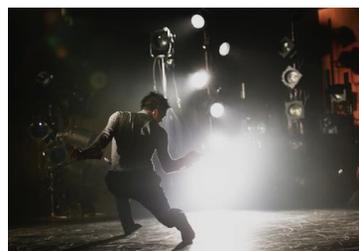
● 北村明子・兼古昭彦
《跑(だく)ー Cross Transit からのスピニアウト企画！ー》

「記憶」「廃墟」「身体」をキーワードに、その土地その土地の歴史的な流れと“いま”を往来するフィールドワークの旅から生まれた国際共同制作ダンス企画Cross Transit からのスピニアウト作品。形に残らない身体表現や音がいかに記憶と関わるのか、アジアの多様な文化を混ぜ合わせ、佐渡でのレジデンスを経て、未来のアジアの身体イメージを深めます。

ダンサー：清家悠圭・川合ロン・西山友貴・加賀田フェレナ・北村明子

ビジュアル制作：兼古昭彦 音楽：横山裕章

- ・日 時：10/1(日) 0:00～0:20
- ・場 所：六本木ヒルズアリーナ
- ・参加料：無料



撮影：大洞博靖

● 柳本雅寛と愉快的仲間達
《roppongi+81》

柳本雅寛と愉快的仲間達が繰り広げるゲリラダンス。アジアを中心に活動するパーカッションスト、坪内敦をゲストに迎え展開するジャパニーズ・コンテンポラリーダンス。

- ・日 時：9/30(土) 23:00～23:20、10/1(日) 1:00～1:20
- ・場 所：9/30(土) 東京ミッドタウン キャンピニー・スクエア
10/1(日) 六本木ヒルズアリーナ
- ・参加料：無料



kazusnoopy

● 山本裕
《「六本木 To the sky」×「六本木 Deep sea」》

「オープンコール・プロジェクト」採択プログラム

現在、人間自ら作った秩序や規律の象徴「大都市」により、人間の感情も複雑化しています。それとは対象に過去の秩序がなかった太古の時代、本能に忠実であった人間。その2つは縦に繋がりどんどん高くなる高層ビルのように。これを表現するべく、「六本木 To the sky」(現代)では人間の感情の機微や情動、「六本木Deep sea」(過去)では太古の野性にまで遡り、生命のアナーキズムを描き出すダンスパフォーマンス！

- ・日 時：9/30(土) ①21:00～21:30、②23:30～0:00、10/1(日) ③2:00～2:30
- ・場 所：9/30(土) ①東京ミッドタウン キャンピニー・スクエア、②六本木ヒルズ 66プラザ
10/1(日) ③六本木ヒルズアリーナ
- ・参加料：無料

「六本木アートナイト 2017」 広域プログラム | 街なかミーティング

「街なかミーティング」は、アーティストや参加者がひとつになって楽しむ交流型プログラムです。六本木の様々な場所で、出逢い、語らい、聴き、動き、体感する、参加することで得られるアートの楽しみ方が、ここに 있습니다。



● 蛭川実花×南條史生

《テーマトーク》

メインプログラム・アーティスト蛭川実花が今回作品のその場所で六本木アートナイト実行委員長南條史生と語ります。アーティストの発想の秘密や制作意図などが生で聴ける貴重な機会です。

- ・日 時：9/30(土) 21:00~21:30
- ・場 所：六本木ヒルズアリーナ
- ・参加料：無料

● we+ and FUTURE LIFE FACTORY

《we+とFUTURE LIFE FACTORYの"Talk a lot!"》

コンテンポラリーデザインスタジオwe+とパナソニックのデザインスタジオFUTURE LIFE FACTORYが、お互いの活動内容を紹介し合いながら、「これからの時代とデザイン」について語り合う。よって立つ基盤や根本の志向を異にするふたつのユニット、その方向軸が交わる交点を探ることが、今後のデザインの意味や価値を探るうえでスリリングな発見につながっていくのでは？観客を交えたトークセッション。

- ・日 時：9/30(土) 22:00~10/1(日) 1:00
- ・場 所：六本木ヒルズ ヒルズカフェ/スペース
- ・参加料：無料

● 近藤良平とその仲間たち

ろくほんもくやまいば

《六本木夜舞場 Vol.5 (真夜中の盆踊り)》

今年も深夜に突如踊り舞台が出現します。コンドルズを主宰する振付家・ダンサーの近藤良平を音頭取りに、熱く静かに真夜中の盆踊り。踊らにや損損！今年は東京ミッドタウンにもお目見え。

- ・日 時：10/1(日) ①1:30~、②3:00~
- ・場 所：①東京ミッドタウン キャンピー・スクエア、②六本木ヒルズアリーナ
- ・参加料：無料



撮影：HARU

● 日本フィルハーモニー交響楽団×インビジブル

《クラシックなラジオ体操》

六本木アートナイト2016で大好評だった「クラシックなラジオ体操」が今年も開催！朝を迎えるにふさわしいクラシック音楽と、新たな気持ちで一日をスタートさせるためのラジオ体操の音楽を、日本フィルハーモニー交響楽団が生演奏。素晴らしいクラシック音楽と共に朝を向かえ、そしてラジオ体操で身体を動かし、身も心も健やかな朝を向かえましょう！

- ・日 時：10/1(日) 5:15~6:00
- ・場 所：六本木ヒルズアリーナ
- ・参加料：無料

● 六本木アートナイトをもっと楽しむガイドツアー

3年目に突入する、ボランティアによるガイドツアーを開催します。ACOPという独自の鑑賞法を踏まえ、美術教育研究者である平野智紀による事前トレーニングを詰んだボランティアガイドは、一般的な作品知識を伝えるガイドツアーとは異なり、参加者と共に対話を重ねながら作品や六本木の街の魅力へと接近していきます。参加者のキャラクターや人数によっても様相が異なり、2度と同じツアーはありません。

- ・日 時：9/30(土) 15:00~24:00
- ・ツアー開始場所：六本木アートナイト運営本部（ラピロス六本木）
- ・参加料：無料

※定員に達し次第受付を終了させていただきます。

※6グループ×3回実施予定（参加延べ人数360名）

● 森と魚デザイン舎、キョク座

《にゅー KEN-KEN-PA! で六本木ジャック》

現代風&リズミカルにアレンジされた「日本の童謡」に合わせて、子どももオトナもみんなと一緒に楽しめる『にゅー KEN-KEN-PA!』を六本木の街なかで開催します。音楽に「掛け声」や「合いの手」を入れるような感覚で、いろいろな人との「一致」も「不一致」も「ズレ」も、観て・聴いて・体感して、楽しんでもらおうという新しい遊びです。音楽は、日本の童謡を斬新に演奏するプロジェクト「キョク座」が演奏します。

・日 時：9/30(土) ①20:00~20:30、②22:00~22:30

10/1(日) ③13:00~13:30、④15:00~15:30

・場 所：9/30(土) ①東京ミッドタウン キャンピー・スクエア、②六本木ヒルズ 66プラザ

10/1(日) ③トライセブンロップンギ ブルーボトルコーヒー前、④六本木ヒルズアリーナ

・参加料：無料



キョク座

三河台公園

～ Explorer 次への扉を開く時 ～

● 幸田千依

《「絵画の冒険」》

公園では画家が絵を描き続け、展示してある絵は時として街の中に移動し、画家の周りには公園に来る人たちによる参加型の作品が増殖します。あらゆる場面に潜む、絵に成る光景を見つけてください。

・日 時：

歩く絵の冒険（パフォーマンス）9/30(土) 13:00～、17:00～、21:00～、10/1(日) 13:00～

絵に成る光景（公開制作）9/30(土) 10:00～24:00、10/1(日) 10:00～18:00

冒険する二つの眼（参加型作品）9/30(土) 10:00～17:00、10/1(日) 10:00～17:00

・場 所：三河台公園

・参加料：無料



● 木村崇人

《木もれ陽プロジェクト こもれびを食べる動物になろう!(昼)》

《木もれ陽プロジェクト もしも太陽が星の形をしていたら(夜)》

「地球と遊ぶ」をテーマに活動をする木村崇人の代表作「木もれ陽プロジェクト」は、自然現象を利用し、星のこもれびの世界を遊ぶ作品。もしも太陽が星の形をしていたら…。

・日 時：こもれびを食べる動物になろう!（体験型作品）

9/30(土) 13:00～17:00、10/1(日) 13:00～17:00

こもれびを食べる動物になろう!（ワークショップ）

9/30(土) 11:00～13:00、10/1(日) 11:00～13:00

もしも太陽が星の形をしていたら（体験型作品）

9/30(土) 18:00～24:00

・場 所：三河台公園

・参加料：無料



● 岡本憲昭

《見る/見るを見る リミックスツアー》

国内や、アジアの都会で表現領域を広げている映像作家、岡本憲昭による感覚拡張ツアー。公園の中を歩きながら、目の前の風景を集め、頭の中でリミックスし、自分の中に内蔵されている「映像の作法」に気付くワークショップです。

・日 時：9/30(土) 19:00～20:00、21:00～22:00

・場 所：三河台公園

・参加料：無料



「オープンコール・プロジェクト」とは・・・

昨年に引き続き、六本木アートナイト出展作品の公募を行う企画。今年は、8プログラムが採択されました。

「六本木アートナイト 2017」各館プログラム | 六本木ヒルズ プログラム

六本木ヒルズの各所に一夜限りの世界が出現します。多彩なインスタレーションやイベントで六本木アートナイトを盛り上げます。

● エネス

《ソニック・ライト・バブル》

オーストラリアを拠点に活動する注目のマルチメディア・デザイン・スタジオ、エネスによる大型インスタレーションが六本木アートナイトに登場! バルーンの表面に触れると、振動や光が変化する、誰でも楽しめるインタラクティブ作品です。

・日 時：9/30(土) 10:00～10/1(日) 18:00

・場 所：六本木ヒルズ 66プラザ

・参加料：無料



● フェリックス・バコロール

《荒れそうな空模様（仮）》

森美術館にて開催中の「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」に参加しているフィリピン人作家、フェリックス・バコロール。環境問題に言及しながら、誰もが楽しめる大型インスタレーションである《荒れそうな空模様》を、毛利庭園でも展開します。

- ・日 時：9/30(土) 10:00～10/1(日) 18:00
- ・場 所：六本木ヒルズ 毛利庭園
- ・参加料：無料

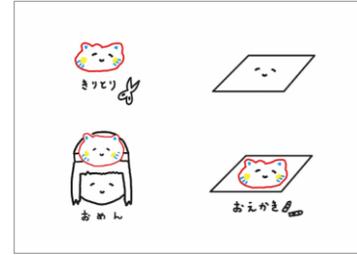


● とんぼせんせい

《とんぼせんせいのお面ワークショップ》

三本の線で構成された笑顔アイコンとする とんぼせんせいのお面作りワークショップを開催します。三本線が描かれた台紙に色を塗ったり、貼ったりしてオリジナルのお面を制作していただけます。作業内容は簡単なのでお子様も気軽に参加可能です。ワークショップ会場内には作家自身が制作した、様々なお面も展示される予定です。

- ・日 時：9/30(土) 17:00～20:00、10/1(日) 11:00～18:00（途中休憩あり）
- ・場 所：六本木ヒルズ 毛利庭園横
- ・参加料：無料



©TOMBOSENSEI

● ファジャール・アバディ・RDP

《気分はどう？》

「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」にも参加しているインドネシアのファジャール・アバディ・RDPがアートナイトでもワークショップを開催します。大きいサイズのTシャツに、今のあなたの気分を表すテキストをプリントすることができます。参加者にそのTシャツを着てアートナイトに参加してもらい、様々な人々の様々な感情を可視化します。

- ・日 時：9/30(土) 23:00～なくなり次第終了
- ・場 所：六本木ヒルズ 毛利庭園横
- ・参加料：無料



ファジャール・アバディ・RDP
気分はどう？
2017

● 船越雅代

《サンシャワー展×船越雅代×グリーンアジア アートナイトで舌つづみ企画！

まちと美術館「Sacred Food聖なる食」六本木アートナイトVersion》

六本木ヒルズが手がける「まちと美術館プログラム」の一環として7月に実施したプログラムを六本木アートナイトVersionとして一晩のみ再現。国内外で食・文化・アート・デザインを融合した活動をする船越雅代が、「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」参加アーティストとのインタビューからインスパイアされた東南アジアの料理に舌つづみを打ちながら、7月の様子を収めたショートフィルムをご覧ください。

- ・日 時：9/30(土) *入替え制/先着順/ブッフェ形式
- ・場 所：グリーンアジア (六本木ヒルズ ヒルサイド B1F)
- ※時間・定員・参加料等の詳細は後日Webでお知らせします。



撮影：御厨慎一郎
写真提供：六本木ヒルズ・森美術館

● 橋本忠樹

《お能ワークショップ舞囃子「高砂」》

世界最古の演劇と言われる能は約650年前に、今に伝わる芸術として大成いたしました。京都の能楽師 橋本忠樹によるワークショップでは“すり足”などの所作を体験し、おめでたい時に謡い継がれてきた名作「高砂」を舞囃子という凛々しい形式でご覧いただけます。能の心地よさ、面白さを味わっていただけたら幸いです。

- ・日 時：10/1(日) ワークショップ 13:00～13:50、舞囃子 14:00～14:30
- ・場 所：六本木ヒルズアリーナ
- ・参加料：無料 (ワークショップ参加者に関しては事前応募)
- ※応募方法の詳細は後日Webでお知らせします。



● 創刊50周年記念 週刊少年ジャンプ展VOL.1 創刊～1980年代、伝説のはじまり

1968年創刊の人気漫画誌「週刊少年ジャンプ」。来年迎える創刊50周年を記念し、現在までの歴史を追う展覧会を3回にわたって開催。VOL.1は創刊した1968年から1980年代までの作品を一挙に展示。時代を代表する名作の貴重な原画の数々と会場限定の映像シアターは見事です。

- ・開催期間：開催中～10/15(日)
- ・開館時間：平日 10:00～20:00、土日祝 9:00～21:00（最終入場は閉館30分前）
※「六本木アートナイト 2017」開催に伴い、9/30(土)は22:00まで開館延長。
- ・休館日：無休
- ・場 所：森アーツセンターギャラリー
- ・入館料：一般・学生 2,000円、高校生・中学生 1,500円、4歳～小学生 800円
※4歳未満は無料

期間中の展覧会



創刊50周年記念
週刊少年ジャンプ展
VOL.1 創刊～1980年代、伝説のはじまり

● 六本木ヒルズ展望台 東京シティビュー オールナイト開館

六本木ヒルズ展望台「東京シティビュー」は海拔250m、森タワー52F屋内展望回廊もオールナイト開館いたします。普段は見る事が出来ない暮れゆく夜からサンライズまでの六本木や東京の街の表情の変化をお楽しみ下さい。

- ・開館時間：平日・休日 10:00～23:00（最終入場は閉館30分前）
 ※金・土・祝前日は25:00まで開館
 ※「六本木アートナイト 2017」開催に伴い、9/30(土) 10:00～翌6:00まで開館延長
- ・場 所：六本木ヒルズ 森タワー52階 東京シティビュー
- ・入館料：一般 1,800円、シニア 1,500円、学生(高・大学生)1,200円、子供(4歳～中学生)600円



「六本木アートナイト 2017」各館プログラム | 森美術館・国立新美術館 (共同開催展)

森美術館と国立新美術館で初の共同開催展となる東南アジアの現代美術展。東南アジアの力強く色彩豊かな現代アートに刺激されること間違いなしです。

期間中の展覧会



リー・ウェン 《奇妙な果実》
2003年、Cプリント、42×59.4cm
(国立新美術館に出品)

● サンシャワー：東南アジアの現代美術展 1980年代から現在まで

国立新美術館、森美術館、国際交流基金アジアセンター主催による、ASEAN設立50周年を記念する過去最大規模の東南アジア現代美術展。東南アジアにおける1980年代以降の現代アートの発展を9つの視点から掘り下げ、そのダイナミズムと多様性を紹介します。会場は国立新美術館と森美術館の二館で、初の共同開催展となります。

- ・開催期間：7/5(水)～10/23(月)
- ・会 場：2館同時開催 | 森美術館、国立新美術館
- <森美術館>
- ・場 所：森美術館
- ・開館時間：10:00～22:00（最終入場は閉館30分前。火曜日は17:00まで）
 ※「六本木アートナイト 2017」開催に伴い、9/30(土) 10:00～翌6:00まで開館延長

<国立新美術館>

- ・場 所：国立新美術館 企画展示室2E
- ・開館時間：10:00～18:00（最終入場は閉館30分前）
- ・休館日：毎週火曜日
 ※毎週金曜日・土曜日は21:00まで開館
 ※「六本木アートナイト 2017」開催に伴い、9/30(土)、10/1(日)は22:00まで開館延長

- ・入館料：2館共通> 一般1800円 / 大学生800円
 単 館> 一般1000円 / 大学生500円



アピチャップン・ウィーラセタクン+チャイ・シリ 《サンシャワー》
2017年、ミクストメディア
展示風景：「サンシャワー：東南アジアの現代美術展 1980年代から現在まで」森美術館、2017年、
撮影：木奥恵三
画像提供：森美術館、東京

「六本木アートナイト 2017」各館プログラム | 森美術館 プログラム

9月30日(土)10:00～翌朝6:00まではオールナイト開館致します。この機会に、深夜の美術館を体験してください。



パトリック・D・フローレス

● レクチャー「比較の難しさ：東南アジア地域をキュレーションするための調査、テーマ、その他の方法」
 長年、東南アジア地域の現代美術とキュレーションの在り方について調査研究を行っているフィリピン大学教授のパトリック・D・フローレス氏が、これまで開催された同地域をテーマにした展覧会と比較しながら「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」について語ります。

- * 日英同時通訳付
- ・日 時：10/1(日) 14:00～15:30（開場：13:30）
- ・出 演：パトリック・D・フローレス（フィリピン大学美術学部教授）
- ・場 所：森美術館オーデトリウム
- ・定 員：80名（要予約）
- ・入館料：無料（ただし、当日有効の森美術館の展覧会チケットが必要です）
- ・主 催：森美術館、国際交流基金アジアセンター
- ・お申し込み：展覧会特設サイト <http://sunshower2017.jp/>

● MAMコレクション005：リサイクル&ビルド

近年注目を集める日本人作家、岩崎貴宏、宇治野宗輝、宮本隆司の作品を通じて、都市とリサイクルの関係に焦点をあてた展示を行います。

● MAMスクリーン006：カミーユ・アンロ

2013年の第55回ヴェネツィア・ビエンナーレで銀獅子賞を受賞したカミーユ・アンロが2002年から2011年までに制作した短編映像9本を上映します。

● MAMリサーチ005：中国現代写真の現場—三影堂撮影芸術中心

中国における写真芸術の普及に努めてきた写真のための複合施設「三影堂撮影芸術中心」の10年の活動を振り返り、中国現代写真史での役割を考察します。

- ・開催期間：7/5(水)～10/23(月)
- ・会場：森美術館（六本木ヒルズ森タワー53階）
- ・開館時間：10：00～22：00（最終入場は閉館30分前）
- ・休館日：会期中無休
 - ※毎週火曜日は17：00まで開館
 - ※「六本木アートナイト 2017」開催に伴い、9/30(土)、10/1(日)は22時まで開館延長
- ・入館料：一般1,000円 大学生500円 高校生・18歳未満は無料
 - ※森美術館会場の「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」のチケットでご入館いただけます。
 - ※写真撮影：一部作品について撮影不可



岩崎貴宏 《Out of Disorder》
2007年 パスタオル サイズ可変
撮影：木奥恵三



三影堂で開催された米中芸術文化フォーラム
2011年

「六本木アートナイト 2017」各館プログラム | 国立新美術館 プログラム

映画音楽なども手がける映像作家の高木正勝氏によるプログラムを始め、今回も、人気の「TOKYO_ANIMA!」を開催。国立新美術館のエントランスの高さを利用した300着の白い古着のシャツによるインスタレーションにも注目。

● 国立新美術館開館10周年 安藤忠雄展—挑戦—

建築家 安藤忠雄の壮大な挑戦の軌跡と未来への展望を6つのセクションに分けて紹介。展示室内では安藤建築の原点と言える「住宅」の代表作や「直島×安藤忠雄」の30年間を俯瞰する空間インスタレーションの展示を行い、野外展示場では代表作「光の教会」を原寸大で再現します。

- ・開催期間：9/27(水)～12/18(月)
- ・開催時間：10:00～18:00（最終入場は閉館30分前）
 - ※毎週金・土曜日は20:00まで開館
 - ※「六本木アートナイト 2017」開催に伴い、9/30(土)、10/1(日)は22:00まで開館延長
- ・休館日：毎週火曜日
- ・場 所：国立新美術館 企画展示室 1E+野外展示場
- ・入館料：一般 1,500円、大学生 1,200円、高校生 800円、中学生以下無料

期間中の展覧会



● 高木正勝

《国立新美術館開館10周年 高木正勝VIDEO WORKS》

国立新美術館の開館10周年を記念し、世界的に活躍する映像作家の高木正勝氏の初期から現在までの映像作品を抜粋しオムニバス形式で展示します。ロビーの巨大コーンに投影される素晴らしい映像・音楽、黒川紀章氏設計による巨大なコンクリート建築との対話をお楽しみください。

- ・日 時：9/30(土) 18:00～22:00
- ・場 所：国立新美術館 1階ロビー 正面入口付近
- ・参加料：無料



高木正勝 《うたがき》

- 吉本直子
《日々の亡霊》

○インスタレーション

約300着の白い古着のシャツによるインスタレーション。シャツとしての役割を終え、次の役割が始まるまでを静かに待つ輪廻転生のイメージとも、多様な他者と緩やかに交り合う共生のイメージともとれる作品です。国立新美術館のエントランスの高さを利用したインスタレーションをお楽しみください。

- ・日 時：9/29(金) 10:00~10/2(月) 18:00 ※9/30(土)、10/1(日)は22:00まで
- ・場 所：国立新美術館 1階ロビー 正面入口付近
- ・参加料：無料



吉本直子《日々の亡霊》

○ワークショップ

アーティスト吉本直子を講師に、古着をほどこきながら残された記憶と時間をたどるワークショップです。出来上がった作品は国立新美術館のロビーの吉本直子の作品《日々の亡霊》とコラボレーション展示を行います。

- ・日 時：9/30(土) 13:00~16:00
- ・場 所：国立新美術館 別館3階多目的ルーム 他
- ・参加料：無料（要事前申し込み。詳細は後日国立新美術館HPにてお知らせします。）定員20名

- TOKYO_ANIMA! 2017『おと〜きよ〜あにま!』

「音は、ふしぎの入り口だ。」今年の「TOKYO_ANIMA!」は『おと〜きよ〜あにま!』大きなスクリーンで、“音”と“動き”のふしぎな世界を体感しよう！途中入退場可能なので、小さなお子様も楽しめます。

- ・日 時：9/30(土) 11:00~11:40、13:30~14:10、15:00~15:40
10/1(日) 11:00~11:40、13:30~14:10、15:00~15:40 ※予定
- ・場 所：国立新美術館 3階 講堂
- ・参加料：無料（当日整理券配布あり）



姫田真武《なにぬねの》

「六本木アートナイト 2017」各館プログラム | 東京ミッドタウン プログラム

今年10周年を迎えた東京ミッドタウン。いたるところに作品が点在、さまざまなパフォーマンスを展開します。六本木アートナイトでは、巨大コンサートホール「アーク・ノヴァ」の内部を公開します。



- アニッシュ・カプーア / 磯崎新

《ルツェルン・フェスティバル アーク・ノヴァ 2017 in 東京ミッドタウン》

移動式コンサートホール「アーク・ノヴァ」が東京ミッドタウンの芝生広場に登場します。「アーク・ノヴァ」は、伝統あるスイスの音楽祭「ルツェルン・フェスティバル」と音楽事務所「KAJIMOTO」が東日本大震災の復興支援のために企画し、世界的建築家の磯崎新氏と英国人彫刻家のアニッシュ・カプーア氏によって制作された、高さ18m、幅30m、奥行36mの巨大な移動式コンサートホール（収容人数494名）です。アートナイト当日は、「アーク・ノヴァ」の内部を公開し、実際に内部に入ることができます。

- ・日 時：〔作品展示〕9/30(土) 05:00~23:00、10/1(日) 05:00~23:00
〔内部公開〕9/30(土) 13:00~23:00、10/1(日) 13:00~18:00
※アートナイト特別イベント開催中、一部入場制限を行います
※最終入場はクローズの30分前
- ・場 所：東京ミッドタウン 芝生広場
- ・入場料：500円 ※小学生以下は無料、頂いた入場料は全て東日本大震災の復興にあてられます。



- 後藤宙

《Street Art Performances "MATSURI" 構造 / 表象》

2016年度 Tokyo Midtown Award アートコンペ グランプリ受賞者の後藤宙は、「未来ノマツリ」をテーマに、糸を用いた彫刻作品の公開制作を行います。作家自身の意識とエネルギー、それに加えて六本木という都市のもつエネルギー、アートナイトや観客のもつパワーを作品へと昇華させます。

- ・日 時：9/30(土) 18:30~10/1(日) 5:00 (予定)
- ・場 所：東京ミッドタウン プラザB1F メトロアベニュー
- ・参加料：無料



- 大塚功季

《Street Art Performances "MATSURI" Growing, Making and Creating》

工事用のカラーコーンやロープなど、身近にある素材を用いて、物質にひそむ自然の力を引き出した作品を制作しているアーティスト大塚功季。六本木アートナイトでは「未来ノマツリ」をイメージし、紅白ロープや黄黒ロープを用いて、作品「Twistripe」を観客が制作するワークショップを実施します。

- ・日 時：9/30(土) 18:30~10/1(日) 5:00 (予定) ※材料がなくなり次第終了
- ・場 所：東京ミッドタウン プラザB1F メトロアベニュー
- ・参加料：無料



Photo by Yoshiko Uehara

● 山口正樹

《Street Art Performances “MATSURI” 遠くの山のそのまた向こう》

彫刻家 山口正樹は、「身につけられる木彫」を制作し、観客に実際に身につけてもらうワークショップを実施します。彫刻を身につけることで、祭り=日常の延長線上にある特別な経験を観客に体験してほしいと願っています。遠くに見える風景の先へ、個が拡がりを持ち世界とつながるために。

・日 時：9/30(土) 18:30~10/1(日) 5:00 (予定)

・場 所：東京ミッドタウン プラザB1F メトロアベニュー

・参加料：無料

● 齋藤詩織

《Street Art Performances “MATSURI” スーベニア感謝祭》

着ていた人の記憶や想いを詰めた抜け殻である服に、繊細なドローイングを施した作品を制作しているアーティストの齋藤詩織。六本木アートナイトでは、ライブペインティングを行い、繊細な作品が生まれる瞬間を観客へ届けます。同時に、観客が色を施す参加型のワークショップも実施します。

・日 時：9/30(土)18:30~19:30、20:00~21:00、21:30~22:30

※作品展示は10/1(日) 18:00まで

・場 所：東京ミッドタウン プラザB1F メトロアベニュー

・参加料：無料



● 副島しのぶ

《Street Art Performances “MATSURI” 蝉は再び空をとぶ》

日用品や宗教的なモチーフを用いて、物語性のある作品を手がける副島しのぶは、「蝉の翅」を使用した祭の装飾品を公開制作します。中国をはじめとするアジアにおいて、蝉は「再生・輪廻転生」を象徴する生き物として知られています。元来、祭は神仏・祖先を祀るためにありました。再生を意味する蝉の翅を死骸から集め、繋ぎ合わせた無数の翅は、内部から照らされる明かりによって淡い光の中で複雑な模様を作り出し、まるで再び生命が宿った様な幻想的な世界を作り上げます。

・日 時：9/30(土) 18:30~10/1(日) 5:00 (予定)

・場 所：東京ミッドタウン プラザB1F メトロアベニュー

・参加料：無料



● FUKUPOLY

《Street Art Performances “MATSURI” GECKO》

映像作家のFUKUPOLYは六本木アートナイトで「移動型映像プロジェクション パフォーマンス」を実施します。流体シミュレーションによって制作した映像を投影しながら作家自ら、さまよい歩きます。映像タイトルの「GECKO」は「ヤモリ」もしくは「月光」の意。刻々と場所と映像を変化させながらパフォーマンスします。

・日 時：9/30(土) 18:30~10/1(日) 5:00 (予定)

・場 所：東京ミッドタウン プラザB1F メトロアベニュー 他

・参加料：無料



● 作 家：遠藤有奈、大野光一、金子未弥、七瀬綾乃、松本千里、山根英治

● 審査員：児島やよい、川上典李子、清水敏男、鈴木康広、土屋公雄、中山ダイスケ

《TMA2017アートコンペ作品展示・最終審査会》

総勢327作品より選ばれたTokyo Midtown Award 2017 アートコンペ入賞者による作品展示および最終審査会を行います。実際に展示した作品を観て行われる最終審査会では作家6名によるプレゼンテーション&質疑応答をご覧ください。決定した各賞については10/13(金)に行われる授賞式にて発表します。

・日 時：作品展示 | 9/30(土) 10:00~10/1(日) 5:00、10:00~18:00

最終審査会 | 10/1(日) 10:00~11:00

・場 所：東京ミッドタウン プラザB1F メトロアベニュー

・参加料：無料



● nor (ノア)

《dyebirth》

壁面に投映された、絶えず有機的に変化し続ける映像。一見、デジタル生成されたグラフィックのように見えるその複雑な模様は、全て、水や油、インク、化学物質などのケミカルリアクションをOHP (Overheadprojector) によって映し出すアナログな機構で描かれています。人や機械による完全な制御ではなく、アナログとデジタルが互いの特性を活かし、干渉し合うことで生み出される映像からは、規則性と不規則性の狭間にある生命的な側面を見出すことができます。

・日 時：9/30(土) 16:00~10/1(日) 5:00、10:00~18:00 ※途中機器の調整時間あり

・場 所：東京ミッドタウン プラザB1F メトロアベニュー

・参加料：無料





● 津村耕佑 / 武蔵野美術大学 デザイン・ラウンジ
《夢夢神社》

津村耕佑は、常時はもとより非常時にも対応するウェアFINAL HOMEを発表後も、ポイドに芽生える創意をファッションに盛り込む事で人々との共振をはかってきました。夢は、希望が叶うまでの空洞の期間を指します。夢夢神社(ゆめゆめじんじゃ)とは、人々の夢夢思っていた願いを鈴音と共に空間に解き放つ装置で、「夢夢おみくじ」を引くことができます。先人達から受け継いだ私たちの夢も、未来の夢と繋がることでしょう。

- ・日 時：9/30(土) 18:00~22:00
- ・場 所：東京ミッドタウン 外苑東通り沿い ガレリアゲート前
- ・参加料：無料

「六本木アートナイト 2017」各館プログラム | サントリー美術館 プログラム

六本木アートナイトの機会に、日本の伝統美にも触れてみたいと感じている方はサントリー美術館がおすすめです。

《六本木開館10周年記念展 天下を治めた絵師 狩野元信》

16世紀に活躍した絵師・狩野元信は、卓越した画技を持ち、また工房の経営者としても優れ、日本美術史上最大画派となる「狩野派」の礎を築きました。本展では、障壁画から扇絵などにいたる元信の多様な画業を、代表作とともに展覧し、当時の日本人が憧れた中国絵画の名品もあわせてご紹介します。

- ・開催期間：9/16(土)~11/5(日)
- ・開館時間：10:00~18:00(金・土、および9/17(日)、10/8(日)、11/2(木)は20時まで開館
※「六本木アートナイト 2017」開催に伴い、9/30(土)は22時まで開館延長
※いずれも入館は閉館30分前
- ・入館料：一般 1,300円、大学生・高校生1,000円、中学生以下 無料
※9/30(土)は六本木アートナイト 2017のため一律500円(中学生以下 無料)

期間中の展覧会



● 坂本頼光/伊藤ケイスケ

《活弁で！酒伝童子絵巻》

「天下を治めた絵師 狩野元信」展に展示される、元信が描いた「酒伝童子絵巻」を無声映画のように味わってみませんか？都の美女をさらう悪鬼・酒伝童子を退治するため、源頼光ら一行は冒険の旅に出発します。大きなスクリーンに映し出される絵巻物の絵にあわせ、活動弁士・坂本頼光氏によるお話と伊藤ケイスケ氏による津軽三味線演奏で、迫力たっぷりの物語をお届けします。

- ・日 時：9/30(土) 17:00~17:30、19:00~19:30、21:00~21:30
- ・場 所：サントリー美術館6Fホール
- ・参加料：無料(要美術館入館料)



● 鹿沼のすごい木工プロジェクト

《アートやたい》

栃木県鹿沼市の木工・金属業者と東京のデザイナーによって立ち上げられた「鹿沼のすごい木工プロジェクト」と、サントリー美術館のコラボレーション企画。鹿沼市の木材を使用した縁日グッズや、オリジナルの木工品、サントリー美術館にちなんだグッズなどをご紹介します。木と遊べるアートな屋台が並び、出入り自由のスペースです。

- ・日 時：9/30(土) 15:00~23:00(予定)
- ・場 所：サントリー美術館1F レクチャールーム
- ・参加料：無料



《フレンドリートーク》

子供から大人まで楽しめる「天下を治めた絵師 狩野元信」展の初心者向けスライドレクチャー。展覧会の見どころを紹介。

- ・日 時：10/1(日) 11:00~11:20、13:00~13:20、15:00~15:20
- ・場 所：サントリー美術館 6F ホール
- ・参加料：無料(要美術館入館料)



21_21 DESIGN SIGHTでは、人々に「そこまでやるか」と驚きと感動を与える壮大なプロジェクトを集めた展覧会を開催中です。国内外8組のクリエイターによる大胆な発想で、これまで思いもつかなかった楽しさと価値観を発見できます。

期間中の展覧会

《企画展「『そこまでやるか』壮大なプロジェクト展」》

数十キロにもおよぶ野外空間や大都市の橋、国会議事堂などを作品へと変貌させる—不可能ではないかと思われるようなプロジェクトを実現してきたクリストとジャンヌ＝クロードを出発点に、既存の表現方法の垣根を超えた大胆な発想を実現するクリエイターたちによる「壮大なプロジェクト」を紹介します。

- ・開催期間：6/23(金)～10/1(日)
- ・開館時間：10:00～19:00(入館は閉館30分前)
※「六本木アートナイト 2017」開催に伴い、9/30(土)は24:00まで開館延長
- ・休館日：火曜日
- ・入館料：一般 1,100円、大学生800円、高校生500円、中学生以下無料

● 展覧会ディレクター 青野尚子によるギャラリートัวร์

開催中の企画展「『そこまでやるか』壮大なプロジェクト展」で展覧会ディレクターを務める青野尚子が、来場者のみなさまとともに会場をまわりながら、作品を解説します。作家や作品ごとの企画段階のエピソードや、企画チームが展覧会をつくりあげるまでのプロセスも交え、本展をより楽しむためのポイントをご提案します。

- ・日 時：9/30(土) 10:00～11:00
- ・場 所：21_21 DESIGN SIGHT
- ・参加料：無料(要入場料)



「六本木アートナイト 2017」各館プログラム | 六本木商店街 プログラム

昨年も好評だった記念撮影を行うフォトスポットを設置。六本木アートナイトに参加した思い出に、六本木の街の中心で撮影してみませんか。

● Roppongi Art Night Photo Spot

六本木の街の中心「六本木交差点」に「六本木アートナイト 2017」に参加した人たちが記念撮影を行う素敵なフォトスポットが登場します。

- ・日 時：9/30(土)～10/1(日)
- ・場 所：ラピロス六本木
- ・参加料：無料



昨年の様子



六本木アートナイト 2017 開催概要

- 正式名称： 六本木アートナイト 2017
- 開催趣旨： 「六本木アートナイト」は、生活の中でアートを楽しむという新しいライフスタイルの提案と、大都市東京における街づくりの先駆的なモデル創出を目的に開催する、一夜限りのアートの饗宴です。様々な商業施設や文化施設が集積する六本木を舞台に、現代アート、デザイン、音楽、映像、パフォーマンス等の多様な作品を街なかになかに点在させ、非日常的な一夜限りの体験をつくり出す本イベントは、東京を代表するアートの祭典として2009年3月にスタートし、年々発展を続けております。
- 日 時： 2017(平成29)年9月30日(土)10:00~10月1日(日)18:00
 <コアタイム> 9月30日(土)【日没】17:27~10月1日(日)【日の出】05:36
 ※コアタイムはメインとなるインスタレーションやイベントが集積する時間帯です。
- 開催場所： 六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース
- お問い合わせ： 03-5777-8600 (ハローダイヤル)
- 入 場 料： 無料(ただし、一部のプログラム及び美術館企画は有料)
- 主 催： 東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、港区、六本木アートナイト実行委員会【国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合(五十音順)】
- 公式サイト： <http://www.roppongiartnight.com>
- Facebook： <https://www.facebook.com/RoppongiArtNight/>
- Twitter： https://twitter.com/r_artnight
- Instagram： https://www.instagram.com/roppongi_art_night_official/

※内容は一部変更になる可能性があります。

六本木アートナイト 過去のメインプログラム・延べ鑑賞者数

2009

55万人



ヤノベケンジ《ジャイアント・トラヤン》

2010

70万人



椿 昇《ビフォア・フラワー》

2012

70万人



草間彌生《愛はとこしえ、未来は私のもの!》

2013

83万人



日比野克彦《TRIP→プロジェクト》

2014

70万人



西尾美也《人間の家》

2015

78万人



齋藤精一
《アートトラックプロジェクト ハル号 アケボノ号》

2016

63万人



名和晃平/西島清順《デイジーバルーン
メインプログラム

※2011年は「東日本大震災」により中止

報道関係のお問い合わせ

六本木アートナイト実行委員会 広報プロモーション事務局

たかもといくよ かいはとみ とみさきあやの
 担当：高本育代・甲斐仁実・富寄綾乃

TEL：03-4477-5556 FAX：03-5469-0680 mail：roppongiartnight2017@pr01.com